

選 考 結 果 総 括 表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
国立健康危機 管理研究機構	理事 (DX・情報発 信推進担 当)	-	-	-	-	三宅 邦明	55	・(株)ディーエヌエー CMO ・医療法人明正会理 事長 ・(株)ALLM 取締役・ CMO (厚生労働省健康局 結核感染症課長) [OB]	応募総数 19 名 ↓ 選考委員会 書類選考 ↓(3 名) 選考委員会 面接 ↓(3 名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任 ↓ 厚生労働大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

国立健康危機管理研究機構役員名簿新旧対照表

役 職	氏 名	年齢	現 任 者				就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
			当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	國土 典宏	69	R7.4.1	6 ※1	R13.3.31	(国)国立国際医療研究センター 理事長				厚生労働大臣	
副理事長	脇田 隆宇	66	R7.4.1	2	R9.3.31	国立感染症研究所長				理事長	
理 事	武井 貞治	60	R7.4.1	2	R9.3.31	(国)国立国際医療研究セン ター企画戦略局長				理事長	
理事	四柳 宏	64	R7.4.1	2	R9.3.31	東京大学医科学研究所先端医 療研究センター感染症分野教 授、東京大学医科学研究所附 属病院教授				理事長	
理事	宮寄 英世	57	R7.4.1	2	R9.3.31	(国)国立国際医療研究セン ター病院長				理事長	
理事	俣野 哲朗	65	R7.4.1	2	R9.3.31	国立感染症研究所副所長				理事長	
理 事	欠員 (R7.4.1～)						三宅 邦明	55	(株)ディーエヌエーCMO 医療法人明正会理事長 (株)ALLM取締役・CMO 厚生労働省健康局結核感染症課 長 【公募OB】	理事長	R7.10.1
理 事 (非常勤)	詫摩 佳代	43	R7.4.1	2	R9.3.31	慶應義塾大学法学部教授				理事長	
理 事 (非常勤)	奈良 由美子	60	R7.4.1	2	R9.3.31	放送大学教養学部／大学院文 化科学研究科教授				理事長	
理 事 (非常勤)	平井 伸治	63	R7.4.1	2	R9.3.31	鳥取県知事				理事長	
理 事 (非常勤)	村山 利栄	65	R7.4.1	2	R9.3.31	インフロニア・ホールディングス 株式会社社外取締役				理事長	
監 事 (非常勤)	白羽 龍三	63	R7.4.1	6 ※2	R13.3.31	白羽公認会計士事務所代表				厚生労働大臣	
監 事 (非常勤)	中崎 尚	51	R7.4.1	6 ※2	R13.3.31	アンダーソン・毛利・友常法律事 務所外国法共同事業パート ナー				厚生労働大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間(R7.4.1～R13.3.31)の末日までとする予定。

※2 監事の任期は、R7.4.1から理事長の任期の末日(R13.3.31)を含む事業年度についての財務諸表承認日まで。

国立健康危機管理研究機構理事（ＤＸ・情報発信推進担当）

選任理由

本法人の使命は、感染症をはじめとする健康危機に対して安心できる社会を実現するための「感染症総合サイエンスセンター」として最先端の医療と公衆衛生対策を提供することにある。

本ポストには、そのミッションとして、感染症にかかる情報の入手から整理・評価、対外的提供までの一連の業務が、効率的に、また関係機関との円滑な連携の下で実施されるようＤＸ・情報発信を推進する責任者として、業務を総括することが求められる。

本件公募に対し、１９人の応募があり、選考委員会による一次選考（書類審査）で３人に絞られた。その後、選考委員会が二次選考（面接審査）を行い、審議の結果、いずれの候補者も理事としての適性を有していると認められたため、３人の所見を付して任命権者である理事長に提示し、これに基づき、理事長が三宅氏を選任したところである。

任命理由は、国の感染症対策分野における政策・立案を行う主要ポストやＩＴ企業の医療・健康部門でＣＭＯ・取締役を歴任することにより、組織内でのリスク管理の実績やリーダーシップ、業務プロセス改革及びシステム基盤の整備・運用の経験を有し、職務内容書で必要とされる能力及び経験が十分にあること、また、本法人が求められる健康危機管理の役割をよく理解し、これまで培った経験等を生かし、高い使命感を持って職務に取り組む姿勢を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。

特に、同人は他の候補者にはない行政と民間双方における豊富な経験を有しており、そのマネジメント能力を生かし、本法人のＤＸ・情報発信の推進に関する企画力・実行力を発揮したいという明確な目的意識と熱意を示していることから、理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【厚生労働省】

- ・ 国立健康危機管理研究機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 医療関係者	2 名
・ 大学教授	1 名
・ 弁護士	1 名
・ 報道関係者	1 名

計	5 名
---	-----